

上野中央通り商店会ガイド

2012年8月号

発行：東京文化会館事業企画課

東京文化会館モーニングコンサートは、上野中央通り商店会の方々のご協力により、2005年より継続してまいりました。2011年7月にめでたく50回を迎えたことを記念し、Vol.44(2011年1月)より毎回1店舗を、(今月のお店)として皆さまにご紹介しています。モーニングコンサートの後はぜひ、上野中央通りのお店にお立ち寄り下さい。

《今月のお店》 レストラン じゅらく

インタビューにお答え頂いたのは...

山田 昌弘 さん

じゅらく上野駅前店 店長

北海道小樽市ご出身の山田さんは、大学時代のアルバイトをきっかけに入社。とても朗らかで包容力を感じさせる方で、山田さんに接客されるとつい長居してしまいそう。長丈のエプロンがとてもお似合いです。趣味はドライブと家庭菜園。



- 一人々が行き交う不忍口の真正面、上野の顔として親しまれる「じゅらく」さんは、今年創業88年。お店の歴史を教えてください。

1924(大正13)年、聚楽(じゅらく)グループの創業者である加藤清二郎が25歳のとき、新潟から上京し、神田須田町に『須田町食堂』という洋食店を立ち上げ、ここから聚楽の歴史が始まりました。上野の『じゅらく』は戦後、この高架下、駅ナカ、京成ビルと展開、1959(昭和34)年、西郷会館に開業し、ファミリーレストランの先駆的存在として親しまれましたが、同館の建て替えのため2008年に閉店し、現在では高架下のこの店が上野じゅらくの顔となりました。

- なぜ上野でも開業されたのでしょうか？

当時、新潟や東北地方からの終点は東京ではなく上野でした。上野は夢を持って上京した人達が最初に訪れる場所だったんです。『じゅらく』は、集団就職で上京した人達が一度に来られてもゆったり過ごして頂けるよう、340席を備え、豚角煮やさつま揚げなど鹿児島の郷土食材が乗った「西郷丼」がとても人気でした。今は『じゅらく』のメニューにはないのですが、

来る9月7日(金)より鹿児島食材に更にこだわって、装いも新たに登場予定ですので、ぜひお召し上がりになられてください。

- 「じゅらく」という店名の由来は？

豊臣秀吉が京都に建てた華麗壮大な邸宅「聚楽第(じゅらくだい)」に由来しています。人々が沢山集って楽しんで頂きたいという願いを込めました。

- 洋食だけでなく、中華も人気だそうですね。

厨房は1階が洋食、2階が中華と分かれており、2店同時に経営しているような大変さがありますが、グループのお客様でも、洋食と中華があれば全員の食べたいものが必ず見付かると好評です。

- 特に人気のメニューを教えてください。

まず「上野バーガープレミアム」。これは黒毛和牛を贅沢に使ったスペシャルなハンバーガーです。それから、ハンバーグ・エビフライ・ナポリタンなどの人気メニューが一度に楽しめる「じゅらくプレートデラックス」はまさに“大人のためのお子様ランチ”。そのほか定番のオムライスはケチャップ、ハヤシソース、デミグラスハンバーグと3種類あり、下町価格なのも人気の理由です。中華では酸辣湯麺(スーラータンメン)が人気急上昇中です。ほどよい酸味と辛味が今の季節にはぴったりですね。

- 最後に、お客様へメッセージをお願いします。

当店は昔ながらの洋食から新しいものまで幅広く取り揃えており、年齢を問わず、お気に入りのメニューが必ず見付かるお店です。モーニングコンサートの後はちょうど昼食のピークに当たり、どのお店も混み合う時間帯ですが、当店は2階席もあり、お客様の回転が速いので、あまりお待たせすることなくご案内できます。夜は23時まで営業していますので、夜のコンサートの後にもぜひお立ち寄り下さい。お待ちしております。

【お店情報】 東京文化会館から徒歩3分 営業時間：11:00-23:00(土日祝は22:00まで)年中無休

8月7日(火)当日のみ有効 このチラシをお持ちのお客様は
ご飲食代の5%割引！！

レストラン
じゅらく

〒110-0006
東京都台東区上野6-11-11
TEL03-3831-8452

